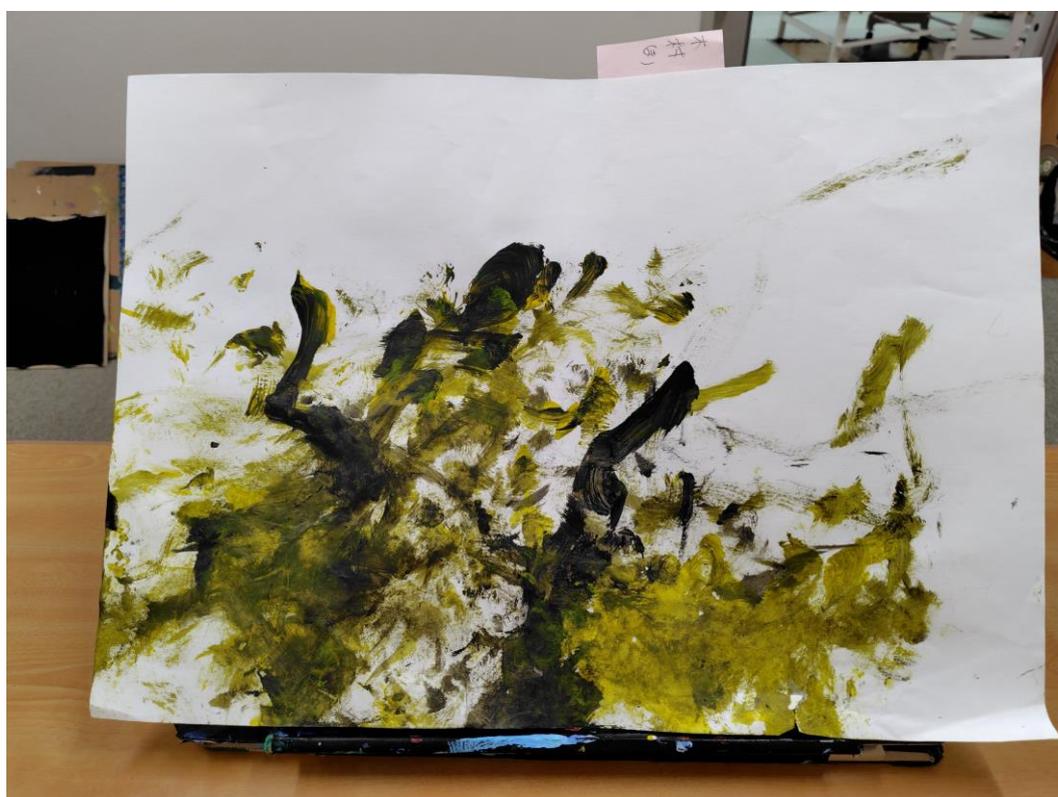


第82号 夏号 発行月：令和6年9月

# 和はっは



3F 木村雅弘さま 作品

- もくじ
1. 残暑お見舞い
  2. 新入職員紹介
  3. 春祭りの様子
  4. 編集長コラム

# 残暑お見舞い



事務局長 西野 和秀

初秋とはいえ暑い日が続きます。皆様におかれましてはお元気でお過ごしのことと存じます。2024年の夏は「観測史上1位の暑さ」とも言われ、その前兆はすでに4月からあり、統計開始以降、この120年間あまりで最も暑い4月になりました。平年より2.76℃も高く、真夏日も多く観測されました。

さて、この暑さの中でも夏の風物詩の風鈴の音を聞くと「癒されるなあ、涼しい気がするなあ」なんて感じる人も多いのではないのでしょうか。風鈴の奏でる音には、癒し効果があります。自然風のリズムは、脳波をアルファ波に導いてリラックス効果をもたらすため、「1/fゆらぎ」と言われており、科学的にも確立されています。そんな風鈴の歴史を紐解き、その魅力をご紹介します。

風鈴の起源は、中国「唐」の時代にさかのぼります。今から2000年前に「占風鐸(せんふうたく)」という占いがありました。竹林の東西南北の四隅に鐘を吊るし、その鳴り方で吉兆を占ったというものです。この時に使われていたのが、風鈴の原型「風鐸(ふうたく)」です。青銅で作られており、今よりずっと重たくて大きなものでした。

日本に風鈴の原型「風鐸」が伝わったのは、奈良時代です。仏教が伝来した時に一緒に伝わってきました。寺院の建て方を取り入れた時、軒下に吊り下げられていた風鐸をそのまま日本でも作ったのです。大きなお寺の屋根の四隅に、金属製の鐘が下がっているのを見たことはありませんか？それが「風鐸」です。なぜ、仏教なのに、占い道具を吊り下げたのでしょうか？この時代、風鐸は「魔除け」の意味がありました。強く吹く風は、「流行り病や邪気を運ぶ災いのもと」と考えられていました。そこで、四方から風に乗ってやってくる鬼や邪気をその音で追い払おうとしたのです。音が聞こえる範囲は聖域であり、魔除けの効果があると信じられていました。ですから、寺院の屋根に吊り下げて、遠くまで音が響き渡るようにしたのです。鎌倉時代になると、法然上人という僧侶の書物に「風鈴(ふうれい)」という記述があります。この時代に、「風鐸」から「風鈴」へと名前が変わっていったのです。

江戸時代になると、オランダからガラスの技法が伝わって来ました。ガラス製品を安くたくさん作れるようになり、ようやく手の届く値段になっていきました。明治時代には、庶民のお宅の軒先にも、自然に吊るされるようになりました。昭和の時代に入ると、風鈴はどこの家にも一つはある、ポピュラーなものになったのです。クーラーがまだなく、団扇と扇風機、よしずや打ち水で、涼しくさせていた頃。縁側の風鈴の音で、気持ちを涼しくさせていたのですね。最近はあまり聞かなくなった気がしますので、もっと多くの場所で、風鈴の音色が聴けると心が癒されるかもしれませんね。

# 新入職員紹介

今年もたくさんの方が来て  
てくださいました！！



相談員

佐藤 加奈子 (さとう かなこ)  
ご利用者の笑顔をたくさん引  
き出せるよう頑張ります。よろし  
くお願いいたします。



2階フロア 看護師

古垣 優里菜 (ふるがき ゆりな)  
ご利用者さんがより良い生活を  
送れる様、頑張りたいと思いま  
す。



2階フロア 看護師

植芝 俊介 (うえしば しゅんすけ)  
ご利用者様と私自身の笑顔を大  
切に援助していきたいです。  
チーム和らぎの一員になれる  
ように頑張ります。



2階フロア 支援員

尼崎 祐実 (あまさき ゆみ)  
安全第一！笑顔を大事に頑張り  
ます！よろしくお願いします。



2階フロア 看護師

八百谷 みどり (やおたに みどり)  
ご利用者の気持ちに寄り添った  
看護ができるように頑張りたい  
と思います。



3階フロア 看護師

池邊 太郎 (いけべ たろう)  
覚えやすい名前をしているので  
ぜひ覚えてください。  
精一杯頑張りますので  
よろしくお願いします。



3階フロア 看護師

進藤 紀和 (しんどう のりかず)  
4月入職の進藤です。一生懸命頑  
張りますのでよろしくお願いします。



3階フロア 看護師

殿本 美保 (とのもと みほ)  
利用者様の笑顔を増やせるよう  
支援させて頂きたいと思います。



3階フロア 支援員

上久保 雅章 (うえくぼ まさあき)  
不慣れなところが多々あると思  
いますが、笑顔いっぱい頑張りま  
すので、よろしくお願いします。



3階フロア 支援員

半田 良介 (はんだ りょうすけ)  
4月から移動し、分からない事が  
多いですが、ご利用者の笑顔にな  
る支援に繋がっていきたくと思  
います。よろしく  
お願いします。



3階フロア

滝 美幸 (たき みゆき)  
一生懸命頑張ります。よろしくお  
願いします。



# 春祭りの様子

令和6年度和らぎ苑春まつりが、5月18日（土）に開催されました。コロナ感染症対策のため、長らくご家族の方の参加を控えていましたが、今回の春まつりは、4年ぶりにご家族の方を招いての開催でした。ご家族の方と一緒に和らぎ苑の行事を盛り上げていきたいと願い、テーマは「再会」とさせていただきます。

さて、春まつりの内容は、行事の食事に今回から世界の名物料理をメニューに加えて提供しました。今回は、お隣の国の韓国料理「ヤンニョムチキン」でした。甘辛い味に舌鼓を打ちました。

イベントは、「フラワーランタン」を制作しました。ご家族の方と一緒に色とりどりのランタンを制作して、ご利用者の方も喜びもひとしおでした。当日は、心地よい天候で、2階フロアでは、ベランダに出て飲み物をいただいたりゆったりとした時間も楽しめた様子でした。

4年ぶりのご家族の方をお招きしての行事にもかかわらず、たくさんご来苑していただきありがとうございました。この再会を次に繋げてきたいと思っております。

行事委員会



発行者：四天王寺和らぎ苑広報委員会

ホームページ

四天王寺和らぎ苑

検索

〒584-0082 富田林市向陽台 1-3-21

Tel:0721-29-0836(代) Fax:0721-29-3916